参考資料

令和７年度当初予算案における主要な施策

部　室　名
市　長　政　策　室

新規事業及び重要事業総括表

Ⅰ　総　額

【一般会計】

区分	令和７年度	令和６年度	伸び率
予算総額	１３９，５５９千円	１４４，１５８千円	△３．２％
一般会計構成比	０．３％	０．４％	－

Ⅱ　主な新規事業及び重要施策

（単位　千円）

施策６－３　市民協働とシティプロモーションの推進

Ｐ　１		市長のまち探検事業（広聴広報費庶務事業）	【秘書課】	１１６
Ｐ　２		市長への意見・提言事業	【秘書課】	４６
Ｐ　３	一部新規等	シティプロモーション推進事業	【総合政策課】	２，６８０

施策６－４　効率的な行財政運営の推進

Ｐ　４	一部新規等	SDGs 推進事業	【総合政策課】	６，５６３

施策 99－99　政策の総合推進

Ｐ　５	新　規	第７次総合振興計画策定事業	【総合政策課】	１１，２１７

市長のまち探検事業（広聴広報費庶務事業）

担当　秘書課
内線　２０１８

１　目　的

市長が企業や事業所、市民活動団体等を直接訪問し、意見交換を通じて地域の課題や要望の把握に努め、市政の推進に活かしていくとともに、地元企業の取組や団体の活動を市民に紹介し、地域への愛着や誇りの醸成につなげていく。

２　事業内容

令和７年度は、５回程度の訪問を予定。
訪問時に記念品として、「市長のまち探検プレート」を付けたひなちゃんのぬいぐるみを進呈。

３　予算額　１１６千円

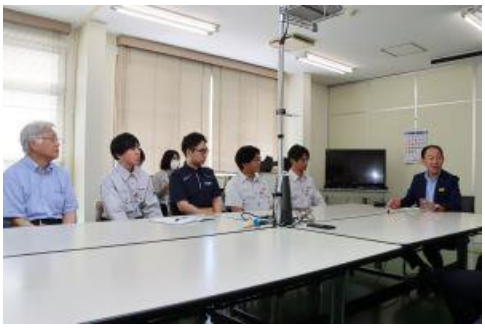
〇訪問実績

年度	訪問数	内　訳
令和５年度	3	企業３
令和６年度	5	企業３　NPO 法人１　市民活動団体１

〇令和６年度の主な訪問先

令和６年５月１０日（金）実施　NPO 法人きっずくらぶ・エンゼル

令和６年７月１８日（木）実施　大起理化工業株式会社



市長への意見・提言事業

担当　秘書課
内線　２０１８

１　目　的

市民の声を市政運営に活かし、ともにまちづくりを推進していくため、メールや手紙により意見・提言をいただく機会を設ける。

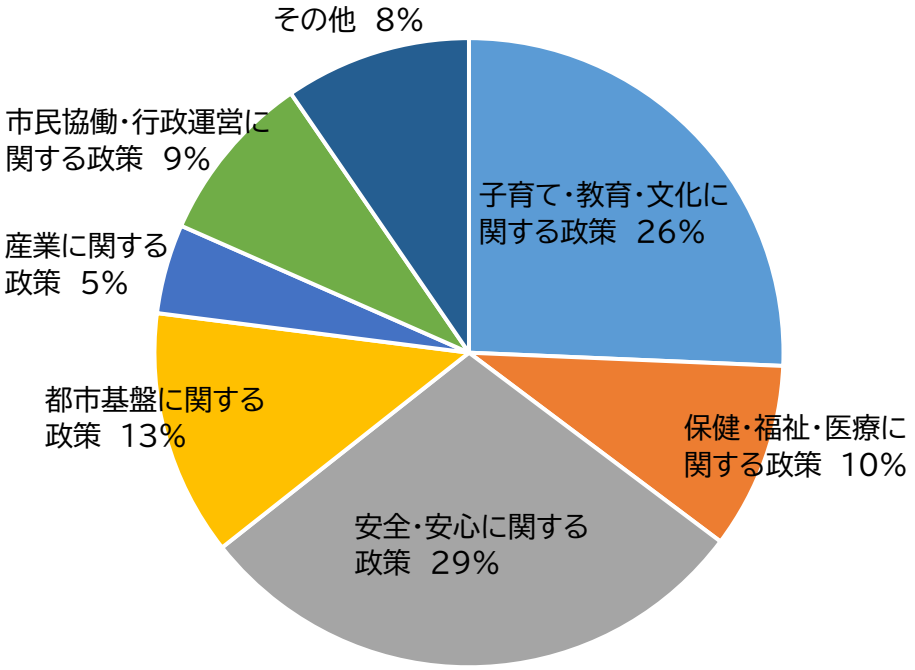
２　事業内容

市民が直接市長に意見・提言する機会を設けるため、市内公共施設に専用用紙を設置するとともに、市ホームページ内に市長への意見・提言専用フォームを用意。

これらの方法により送られてくる意見・提言を秘書課で受付し、関連部署と調整のうえ、受付日から２週間を目途に市長又は担当部課長からメール等で回答するほか、内容によっては、担当部署から電話等で直接対応する。

３　予算額　４６千円

【令和５年度　市長への手紙・メールの集計結果】　※総数２６１件（メール１９８件、手紙６３件）



シティプロモーション推進事業

担当　総合政策課　シティプロモーション担当
内線　２２３７

１　目　的

鴻巣市が有する地場産品や観光資源、立地特性や住環境、そして、そこに住む市民の活動などを関連づけ、その魅力を市内外に効果的に広報・ＰＲすることにより、市民やまちに関わりのある人の本市への愛着や誇りの醸成を図るとともに、関係人口や定住人口の拡大を目指す。

２　事業内容

（１）「市の鳥」の指定【新規】

本市のまちづくりのシンボルであるコウノトリの「市の鳥」指定を進めるとともに、コウノトリの記録動画の作成・配信などを通じて、本市の魅力を市内外に広く発信する。

（２）シティプロモーション推進懇話会の運営

令和４年３月に策定した鴻巣市シティプロモーション推進方針の推進にあたり、シティプロモーション推進懇話会を開催し、進捗状況の確認や効果の検証等を通じた意見交換を行う。

（３）オープンミーティング「NOSU（のす）・LAB（ラボ）」の開催

地域に愛着を持つ市民が集まり、まちの魅力等について情報交換を行いながら交流を深める場として、誰もが気軽に参加できるオープンミーティングを定期的に開催する。

（４）シティプロモーションイベント「のすぱ」の開催

地域情報サイト「こうのす広場」の WEB 会員事業者やふるさと納税返礼品提供事業者の出展をメインとしたイベントを開催し、生産者等と市民との交流機会の創出、地場産品の認知度向上とシビックプライドの醸成を図る。

（５）IKOKA（イコカ）暮らしやすさ発信事業

県央地域４市１町共同で IKOKA アンバサダーの任命やインスタグラムフォトコンテストを開催することで、県央地域全体の魅力と暮らしの情報を効果的に発信する。

３　予算額　２，６８０千円

「NOSU・LAB」でのまち歩き

「のすぱ」の開催

SDGs 推進事業

担当　総合政策課　企画担当
内線　２２３６

１　目　的

令和５年５月の SDGs 未来都市選定を受けて同年８月に策定した「鴻巣市 SDGs 未来都市計画」の進捗管理を行うとともに、市民・事業者へ向けた SDGs の普及・啓発を推進する。また、市民・事業者・行政が連携し、SDGs 視点（経済・社会・環境の好循環の創出）による地域課題の解決を図る。

２　事業内容

（１）「地方創生SDGsフェス」への出展【新規】

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）における内閣府主催イベント「地方創生SDGsフェス」（R7.5.28～6.1）に出展し、本市のSDGs達成に向けた取組を国内外に広く発信する。

（２）「こうのとりSDGsフェスティバル」の開催

こどもから大人までの幅広い年代の方々がSDGsへの理解を深める場として、市民・事業者・学校など、多岐にわたる分野の皆さんとのパートナーシップによって創り上げる「こうのとりSDGsフェスティバル」を開催する。

（３）「こうのとりSDGsパートナー制度」の拡充

令和６年度に開始した「SDGsパートナー制度」について、パートナー事業者のさらなる拡大を図るとともに、市とパートナーとの連携やパートナー同士の連携の深化に向けた交流会を開催する。

（４）「SDGsポイント制度」の認知度向上・利用拡大

令和７年１月25日から運用を開始したスマートフォンアプリ「まちのコイン（コイン名：ブーケ）」について、市民や市内事業者への認知度の向上と利用の拡大を進めることで、SDGsの達成に向けた活動を促進させるとともに、関係人口の創出、地域経済の活性化につなげていく。

３　予算額　６，５６３千円

新　　規

第７次総合振興計画策定事業

担当　総合政策課　企画担当
内線　２２３６

１　目　的

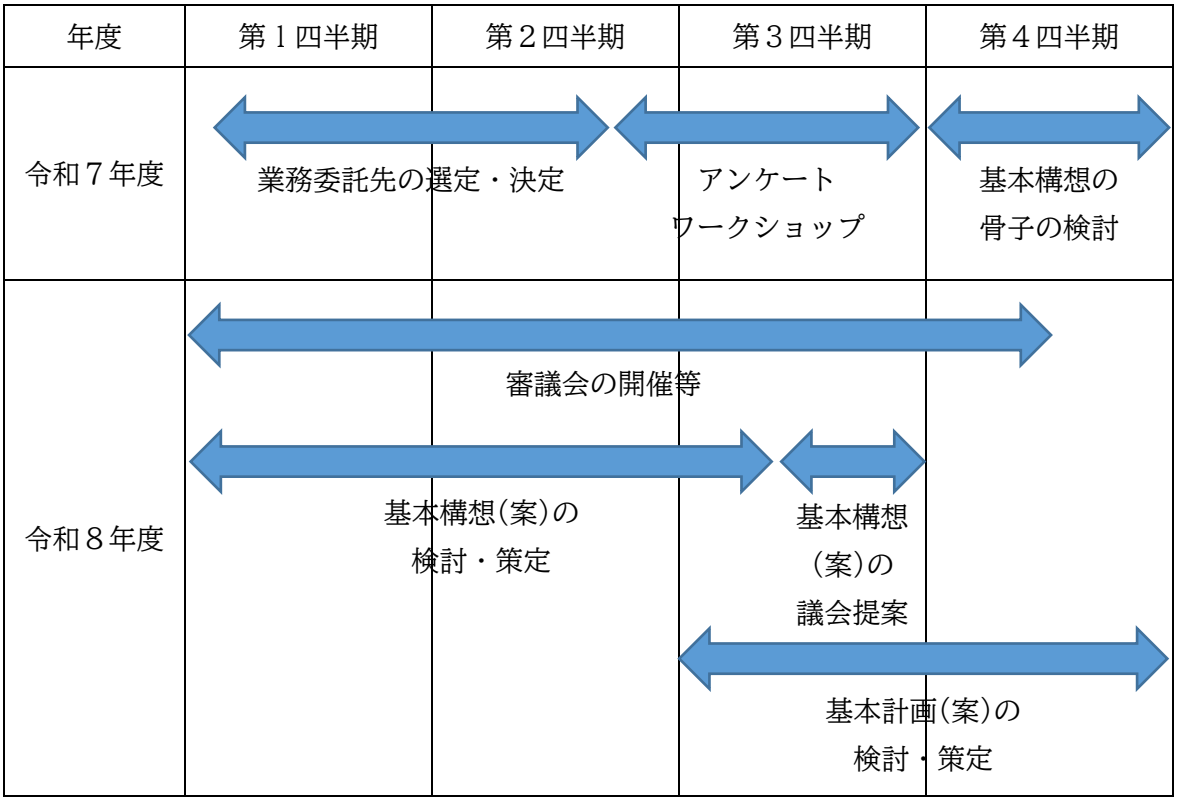
本市の行財政運営における最上位計画である総合振興計画を策定することで、市が進むべき方向を明確に示すとともに、それに向かって行うべき政策及び施策の体系化を図る。

２　事業内容

第６次鴻巣市総合振興計画の計画期間が令和８年度に満了となることから、令和７年度からの２か年間で次期(第７次)総合振興計画を策定する。

令和７年度は、アンケートやワークショップなどにより、市の課題や目指すべき姿などについての市民意見を把握した上で、今後のまちづくりの理念と方向性を定める「基本構想」の骨子の検討を進める。

スケジュール（予定）



３　予算額　１１，２１７千円